

2017.03.23 ニュース | 慶應義塾大学

東京 2020 オリンピック英国チーム事前キャンプ契約締結式



3月21日（火）、日吉キャンパス協生館のイベントホールにて、「東京 2020 オリンピック英国チーム事前キャンプ契約締結式」が行われ、清家篤塾長、ヒュー・ロバートソン英国オリンピック委員会（BOA）委員長、林文子横浜市市長、福田紀彦川崎市市長、竹田恆和日本オリンピック委員会（JOC）会長が出席しました。

慶應義塾大学、横浜市、川崎市は、東京 2020 大会における英国オリンピック代表チームによる事前キャンプの受け入れについて、2016年2月にBOAと覚書を締結しました。今回の契約は、BOAと3者がそれぞれ取り交わすもので、対象施設、利用期間、競技、交流事業など施設利用やパートナーシップについて取り決めるものです。

慶應義塾大学では、2020年7月3日から8月11日の期間（セットアップ期間を含む）、日吉キャンパスの記念館や陸上競技場、蝮谷体育館を中心に、アーチェリー、フェンシング、近代五種競技、バドミントン、体操競技、卓球、バスケットボール、柔道、テコンドー、ボクシング、空手、ウエイトリフティング、ホッケーの計13種目を受け入れる予定です。

施設の提供はもとより、研究・教育・歴史・文化・芸術などスポーツ以外の分野においても交流を深め、地域社会や国際社会への貢献のために協力していきます。

締結式の司会は、卒業生でロンドンオリンピック競泳男子 200m 銅メダリストの立石諒君が務めました。契約の概要説明に引き続き各代表者による挨拶があり、その後、ポール・マデン駐日英国大使による来賓挨拶、各代表者による契約書への署名を経て締結式は終了しました。締結式終了後には会場を移し、終始和やかな雰囲気の中、レセプションが行われました。

(参考)

東京五輪における英国事前キャンプ地 覚書締結式 (2016/02/09 掲載ニュース)

<https://www.keio.ac.jp/ja/news/2015/osa3qr000001dc4w.html>

英国オリンピック代表チームウェブサイト (英語)

<https://www.teamgb.com/news/team-gb-secure-tokyo-2020-pre-games-preparation-camp-facilities>



控え室での様子



締結式の様子



署名を終えた後の記念撮影



締結式後、取材を受ける清家塾長



日吉キャンパス陸上競技場

撮影：竹松 明季 他

2018.05.15 イベント | 横浜市

英国トライアスロン、パラトライアスロンチームの選手たちと横浜市の小学生との交流会



2018年5月11日（金）・12日（土）に、英国トライアスロン、パラトライアスロンチームの選手たちと横浜市の小学生との交流会が開かれました。

交流会では、まずはそれぞれの簡単な自己紹介。中には英語で元気よく自己紹介をした小学生がいて、選手たちに喜ばれました。それに応えるかのように、選手のひとりが日本語で自己紹介をすると、子どもたちも嬉しそうに大拍手。

自己紹介に続き、選手と生徒混合のグループに分かれ、英国や、種目に関する質問と応答を交えながらコミュニケーションを深めました。

12日は交流会のあと、英国代表チームの選手たちと、ちょうど開催中の2018ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会の山下公園周辺特設会場へ応援に出掛け、子どもたちはトライアスロンの迫力を身近に感じていました。

5月11日(金)

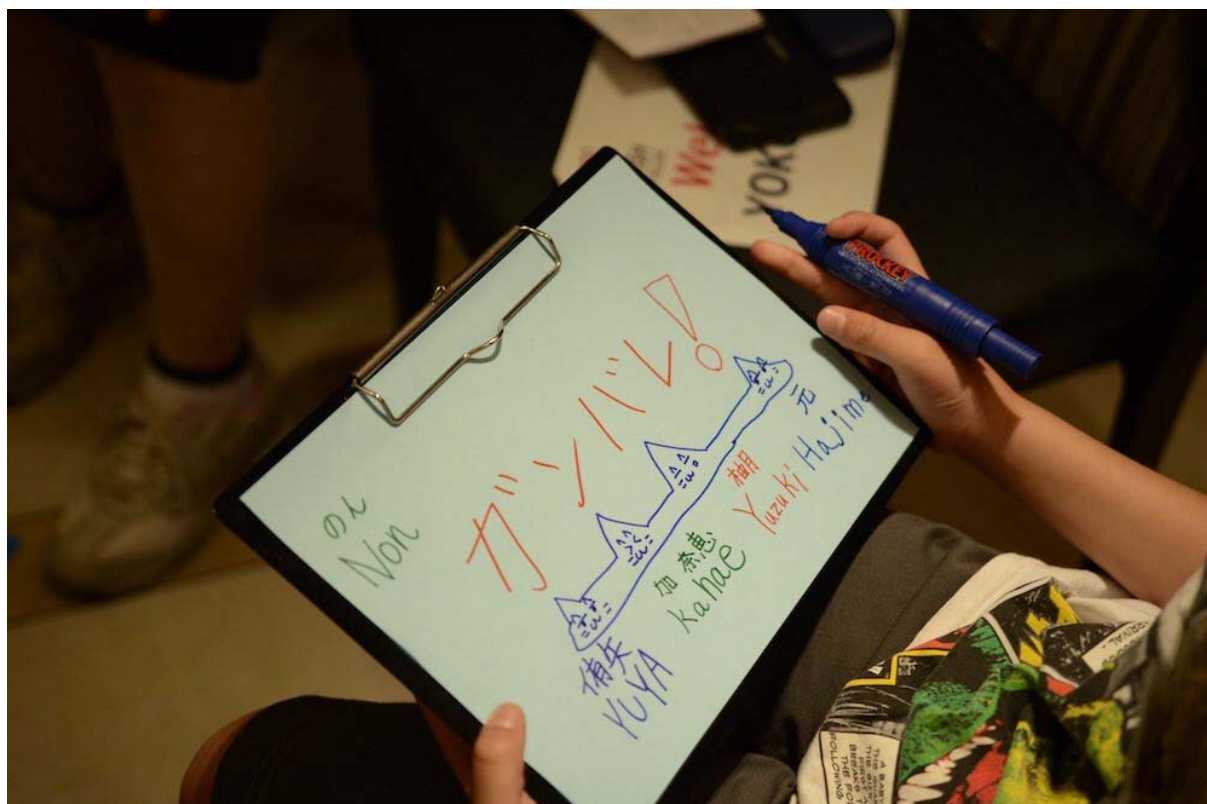
11日の交流会。会場は日英の国旗で歓迎ムード。



子どもたちはトライアスロンチームとワークショップ。



英語と日本語で選手へ応援メッセージ。



選手と子どもたち交えたグループワークの発表。



最後は手書きのメッセージを手に集合写真。



5月12日(土)

2日目はパラトライアスロンの選手と交流。



前日同様に選手とグループワークを楽しみました。



英国代表チームを応援する合言葉「GO GB!」の掛け声と共に集合写真。



交流後は開催中の 018ITU 世界トライアスロンシリーズ横浜大会の山下公園周辺特設会場へ移動し、一緒に応援。



最後にハイタッチでお別れ。2020年に再会できますように！



2018.05.28 ニュース | 慶應義塾大学

東京 2020 英国パラリンピック代表チームの事前キャンプ覚書締結式開催



慶應義塾大学・横浜市・川崎市は、東京 2020 パラリンピック競技大会における英国パラリンピック代表チームの事前キャンプについて、英国パラリンピック委員会 (BPA) と覚書を締結し、5 月 24 日 (木) に日吉キャンパス協生館のイベントホールにて締結式を行いました。

挨拶に立った長谷山彰塾長は、パラアスリートは人間の潜在力の高さや多様性を教えてくれる存在であるとし、受け入れ事業に携わることは、慶應義塾関係者にとっても素晴らしい体験になると語りました。続いて、各代表者が覚書に署名すると、会場からは温かい拍手が起こりました。4 者は、事前キャンプのみならず、さまざまな文化・学術面での交流や、地域社会との交流も見据え、協力していくこととなります。

会場には多くの来賓をはじめ、英国視覚障害者柔道の選手たちも参加し、締結式後の祝賀会では学生と選手が歓談する場面も見られました。

なお、慶應義塾大学・横浜市・川崎市は、英国オリンピック代表チームの事前キャンプについても、2017 年 3 月、正式に契約を締結しています。

(参考)

[プレスリリース] 東京 2020 英国パラリンピック代表チーム事前キャンプ 川崎市・慶應義塾大学・横浜市が英国パラリンピック委員会と覚書を締結

<https://www.keio.ac.jp/ja/press-releases/2018/5/24/28-44182/>

英国パラリンピック委員会ウェブサイト（英語）

<https://paralympics.org.uk/>



署名後の記念撮影（左から、長谷山彰塾長、福田紀彦川崎市市長、林文字子横浜市市長、ティム・ホリングスワース英国パラリンピック委員会 CEO）



祝賀会で、英国視覚障害者柔道の選手たちと交流する長谷山塾長



選手と歓談する塾生たち



会場の様子



日吉キャンパスの柔道場で、体育会柔道部員と乱取りをする英国選手

2018.08.05 イベント | 横浜市

東京 2020 大会 2 年前イベントで英国事前キャンプ応援ステージを行いました！



東京 2020 オリンピック・パラリンピックまであと2年と迫った8月4日、横浜市では、クイーンズスクエア横浜において、東京 2020 大会2年前イベント「横浜にオリンピックがやってくる！」を行い、同時開催で「英国事前キャンプ応援ステージ」を実施しました。当日は、横浜と英国をつなぐ親善大使である「ひつじのショーン」のダンスステージや、英国事前キャンプを一緒に受け入れる慶應義塾大学のチアリーディングチーム Merfilles のステージなど、多くの皆様にご来場いただきました。2年後の英国事前キャンプに向け、どんどん盛り上げていきましょう！

つづきジュニア編集局(※)のジュニア記者によるレポートもご覧ください！

つづきジュニア編集局 ⇒ <http://junior.minicity-plus.jp/2018/09/5990/>

(※) <つづきジュニア編集局ジュニア記者による「英国を知る」ためのレポート>

横浜市では、英国の事前キャンプ地「国際プール」のある都筑区の「つづきジュニア編集局」の皆さんにも、記事の作成にお手伝いいただいています。レポートの様子をときどきご紹介いたします。ぜひご注目ください！

つづきジュニア編集局って？

つづきジュニア編集局は、横浜開港 150 周年・都筑区制 15 周年の節目にあたる 2009 年に都筑区の記念事業として始まりました。今では、都筑区だけでなく横浜市全体に目を向け、小学5年生から高校生のジュニア記者が、子どもの目線と力をフルにいかして、取材に行き、記事を書いています。

2018.09.20 イベント | 横浜市

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018「ひつじのショーン×タップダンスショー」で英国事前キャンプ PR を行います！



3年に一度、横浜で開催される、日本最大級のダンスフェスティバル Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018。そのプログラムの一環として、英国発のクレイ・アニメーションキャラクター「ひつじのショーン」が、世界大会出場のタップダンサーと一緒に足音で奏でるタップダンスを披露し、子どもたちと一緒に楽しめるダンスステージを開催します。ひつじのショーンは、2017年に横浜と英国をつなぐ親善大使にも就任！会場では英国事前キャンプ PR パネルが展示されています。ぜひ、会場をご覧ください！



【日程】2018年9月23日（日・祝）13:30／15:30

【会場】クイーンズスクエア横浜1階 クイーンズサークル

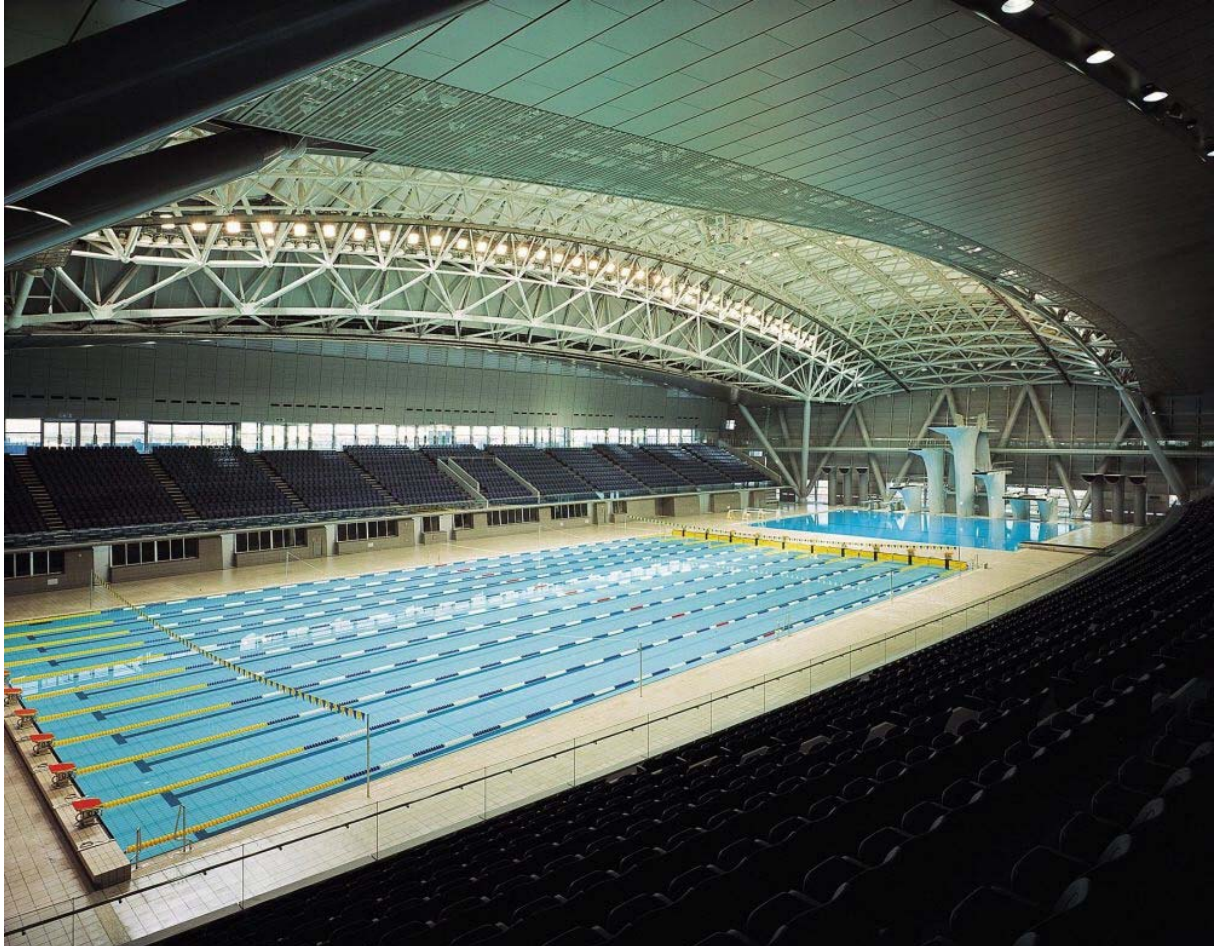
※各ステージ入れ替え制

※観覧無料

<https://paradise.dance-yokohama.jp/program/ydp923queenscircle/>

2018.09.20 イベント | 横浜市

横浜国際プールで英国代表選手を応援しよう！2018 ジャパンパラ水泳競技大会に英国代表選手が出場します！



日本国内最高峰のパラスポーツ競技大会、ジャパンパラ水泳競技大会が、2020年英国事前キャンプの舞台となる横浜国際プールにやってきます！この大会は国際の公式記録としても認定される、日本国内では数少ない国際公認大会。参加標準記録が設けられており、大会に参加するためにはその記録を突破しなければなりません。今回の大会では、海外からのトップアスリートも参戦、英国からも代表選手9名が出場予定です！世界を意識したトップレベルのパラ水泳が観戦できるこの機会、ぜひ会場で体感してください！

【日程】9月22日(土)～24日(月・振休)

【会場】横浜国際プール（横浜市都筑区北山田7-3-1）

【大会公式 Web サイト】

<http://www.jsad.or.jp/japanpara/swimming/>

【もっとパラ水泳を楽しもう！】

「かんたん水泳ガイド」はこちら

http://www.jsad.or.jp/about/referenceroom_data/competition-guide_02.pdf

World Para Swimming 公認



2018

ジャパンパラ 水泳競技大会

会場 **横浜国際プール**
横浜市都筑区北山田7-3-1

期間 **2018年9/22^土 → 24^月**

- 主催 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
- 一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟
- 共催 一般社団法人日本知的障害者水泳連盟
- 一般社団法人日本ろう者水泳協会
- 主管 一般社団法人神奈川県水泳連盟

入場無料

鈴木孝幸

リオパラリンピック出場
150m個人メドレー (SM4) 日本記録保持者



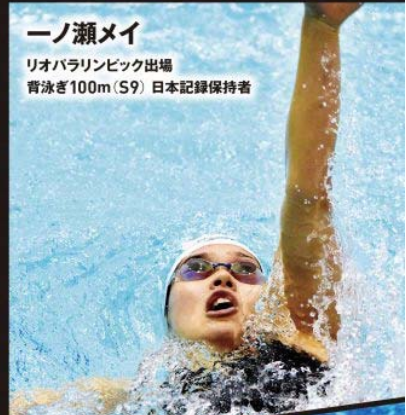
中島啓智

200m個人メドレー (SM14)
リオパラリンピック銅メダル



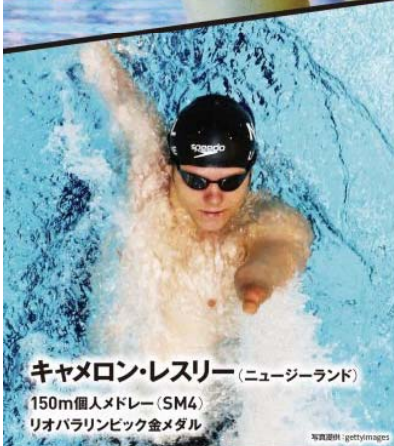
一ノ瀬メイ

リオパラリンピック出場
背泳ぎ100m (S9) 日本記録保持者



キャメロン・レスリー (ニュージーランド)

150m個人メドレー (SM4)
リオパラリンピック金メダル



ダニエル・フォックス

(オーストラリア)
200m自由形 (S14)
リオパラリンピック銅メダル



エリー・コール

(オーストラリア)
背泳ぎ100m (S9)
リオパラリンピック金メダル



世界のトップアスリートが集結!!



JPSA オフィシャルパートナー

トラスコ中山株式会社 西濃シェンカー株式会社
カリフォルニア・レーズン協会 日野薬品株式会社
株式会社富士住建 株式会社クローリアーズ 株式会社JTБ
大塚製薬株式会社 株式会社福祉施設共済会
株式会社ティーガイア 株式会社コム兵 住友金属鉱山株式会社

後援

スポーツ庁 神奈川県 横浜市 横浜市教育局委員会
公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本オリンピック委員会 公益財団法人日本水泳連盟
日本障がい者水泳協会 一般社団法人日本マスターズ水泳協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟
全国聾学校体育連盟 公益財団法人神奈川県身体障害者連合会
社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団

協力

神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会

協賛

株式会社城山

JPSA

【問合せ先】公益財団法人日本障がい者スポーツ協会JP事務局
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸股町2-13-6 ユニゾ水天宮ビル3階
TEL 03-5939-7021 FAX 03-5641-1213
公式HP <http://www.jsad.or.jp> 公式Facebook <https://www.facebook.com/jpsasports>

ライブ動画配信あり!

【大会サイト】 <http://www.jsad.or.jp/japanpara/>

ポスターに掲載する情報は掲載時のもので、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。



2018.10.10 ニュース | 横浜市

10月14日(日)日本大通り周辺でごちゃまぜ音楽祭「ホッチポッチミュージックフェスティバル」を開催します！



「ホッチポッチ」とは「ごちゃまぜ」という意味。

国・世代・性別・障がいの有無などに関わらず、誰もが集える参加型音楽フェス。開港を経て発展した OPEN な YOKOHAMA だからできる、みんなのフェスです。今年の「ホッチポッチミュージックフェスティバル」のテーマは“共鳴”
いろんな場所でたくさんの人たちと響きあう体験を“共鳴”と名付けました。

2年後に迫った東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて英国と横浜との“共鳴”も始まりました。

横浜市は英国オリンピック代表チームの事前キャンプ地となるとともに、英国のホストタウンに決定。これをきっかけに横浜市は英国との交流事業を展開し、両大会の成功に向け、オール横浜でおもてなしします。

今回のホッチポッチミュージックフェスティバルでは、横浜市と協力し、「英国ホストタウン交流事業」として、英国大使館太鼓会 どん BRI とバグパイプ奏者ジェラルド・ミューヘッドさんをお招きし、英国との音楽交流を実現させました。

バグパイプの息づかい、太鼓の響きで“共鳴”しましょう。

▼バグパイプ奏者「ジェラルドミューヘッド」 出演時間

日本大通り(メインステージ) 13:20～

関内駅南口 15:25～

※出演時間は当日の状況で前後する場合がございます。

余裕を持ってお越しください。

▼和太鼓「英国大使館太鼓会どん BRI」 出演時間

日本大通り(メインステージ) 13:35～

※出演時間は当日の状況で前後する場合がございます。

余裕を持ってお越しください。

▼WEB URL

<http://www.arcship.jp/nihon-street/>



2018.10.25 ニュース | イベント | 横浜市

「2018 ふるさと港北ふれあいまつり」で英国事前キャンプPRブースを出展しました。



10月20日(土)に行われた「2018 ふるさと港北ふれあいまつり」で、英国事前キャンプPRブースを出展しました。

ブースでは、同じく英国代表チーム事前キャンプを受け入れる慶應義塾大学の公式英国代表選手団サポート団体、「KEIO 2020 project」の皆さんにもご協力いただき、紅茶の試飲など英国を体験するプログラムを実施しました。

子どもを中心に多くの方に足を運んでいただき、英国の文化を体験していただきました。

ふれあいまつりは、晴天に恵まれ、約4万人の方にご来場いただきました。

2018.10.31 ニュース | イベント | 横浜市

「ホッチポッチミュージックフェスティバル 2018」に英国の音楽系アーティストに参加いただきました！



2018年11月14日、「せかい中の音楽を楽しめる音楽祭」であるホッチポッチミュージックフェスティバルに英国の音楽系アーティストを招聘し、イベント内での演奏や横浜のアーティストとのセッションの参加等を実施し、相互の文化交流を深めました。

駐日英国大使館の職員OB、OGで構成される「英国大使館太鼓会 どんBRI」を招聘し、日本の伝統楽器である和太鼓のパフォーマンスをしていただきました。



バグパイプ奏者、ジェラルド・ドミューヘッド氏を招聘し、本場の英国音楽を披露していただきました。また、同氏には当イベントのフィナーレにもご出演いただき、イベントMCをはじめ、他の出演者とも交流していただくことができました。



2020年の東京オリンピック英国代表のキャンプ地に「横浜・川崎」が選ばれたことを周知するために、当イベントの玄関口である関内駅南口会場に展示を行いました。



2018.11.02 イベント | 横浜市

11月3日(土)「第24回都筑区民まつり」で英国事前キャンプPRブースを出展します！



11月3日（土）に行われる都筑区民まつりセンター北会場で、英国事前キャンプPRブースを出展します！

ブースでは、同じく英国代表チーム事前キャンプを受け入れる慶應義塾大学の公式英国代表選手団サポート団体、「KEIO 2020 project」の皆さんにもご協力いただき、紅茶の試飲など英国を体験するプログラムを実施予定！英国と横浜をつなぐ親善大使、「ひつじのショーン」との握手＆撮影会も行います。ぜひ足を運んでいただき、英国の文化を体験してみてください！

【日時】11月3日（土）10時～15時

【会場】都筑区民まつりセンター北会場（横浜市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン「センター北」駅すぐ）

※都筑区民まつりの詳細はこちら↓

<http://www.city.yokohama.lg.jp/tsuzuki/chiiki/chiiki/20180530170220.html>

第24回
都筑区民まつり

2018
11/3
土・祝
10:00
~15:00

会場は
3カ所

■センター南会場
開会式、ステージ、PRコーナー、模擬店、お菓子、ふれあい都市、番社探検コーナー、番社バザー等

■みなぎたウォーク会場
フリーマーケット、PRコーナー、模擬店、ステージ等

■センター北会場
PRコーナー、模擬店、ステージ、お菓子等

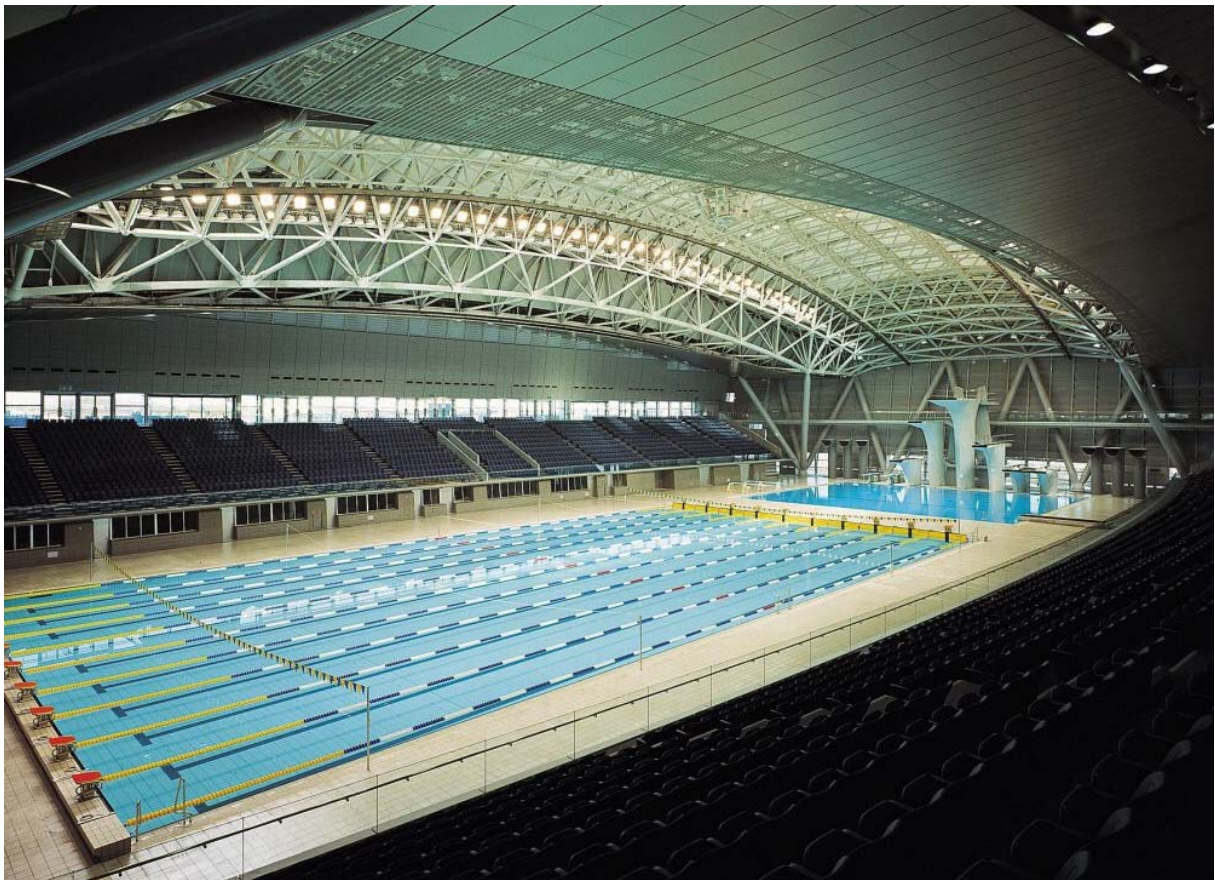
笑顔あふれる ふるさと都筑

都筑区民まつり 検索

主催：都筑区ふるさとづくり委員会（事務局：都筑区役所地域創造課）TEL:948-2231
お問合せ：当日の午前8時からは、横浜市コールセンターにお問い合わせください TEL:664-2525
※本報のとまきは発行しません。詳しくは、当日午後7時から、都筑区民まつりホームページでお知らせします。会場周辺は交通規制が実施されますので、公共交通機関をご利用ください。

2018.11.02 イベント | 横浜市

11月4日(日) B.LEAGUE 横浜ビー・コルセアーズのホームゲームで横浜市主催「英国ホストタウン・事前キャンプ応援デー」を実施します！



英国代表チームの事前キャンプ地・横浜国際プールをホームアリーナとする横浜ビー・コルセアーズ。11月4日(日)に行われる新潟アルビレックスBB戦で、横浜市主催「英国ホストタウン・事前キャンプ応援デー」を行います！

当日は、英国事前キャンプのパネルコーナーが設けられるほか、英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショーン」もアリーナに登場！ハーフタイムにかわいいダンスパフォーマンスを披露したり、ホームゲーム中、ところどころに出没予定です。

また、会場では車いすバスケ体験会も実施！車いすバスケでのシュートチャレンジが体験できます。この機会に、英国事前キャンプの会場にぜひ遊びに来てください！

【日時】11月4日(日) 12:05 入場開始 14:05 試合開始

【会場】横浜国際プール(横浜市営地下鉄グリーンライン「北山田」駅から徒歩5分)

※試合の情報など、詳細はこちら↓

https://b-corsairs.com/news/game_20181103_20181104/

2020年、英国事前キャンプが横浜にやってくる！

英国と横浜をつなぐ「親善大使」ひつじのショーン

英国と一緒にワクワクを体験しよう！

横浜市 プレゼンツ 英国ホストタウン・事前キャンプ応援デー

14:05 TIPOFF
VS 新潟アルビレックスBB
横浜国際プール

11.4 SUN

2018.11.14 イベント | 横浜市

12月3日(月) 英国事前キャンプ・ホストタウン応援企画「英国と横浜を知る講座～英国の共生社会文化から学ぶ～」を実施します！



横浜市では、2020 年に向け英国代表チームを迎え入れる機運を醸成していくため、様々な分野において英国事前キャンプ・ホストタウンに関連した取組を進めています。今回、英国オリンピック委員会からゲストをお迎えし、栗栖 良依氏による英国の共生社会に着目した講演、英国文化を体験するプログラムを開催します。英国代表チームがやってくるこの機会に、豊かな英国文化に触れて楽しんでみませんか？

【日時】

平成 30 年 12 月 3 日 (月) 19 時～20 時 30 分

【場所・アクセス】

横浜イギリス館（横浜市中区山手町 115-3）

○電車：みなとみらい線「元町・中華街」駅下車、6 番出口アメリカ山公園口から徒歩 6 分

○バス：JR「桜木町」駅から、神奈川中央交通バス 11 系統、市営バス 20 系統、

または市営バス「あかいくつ」で「港の見える丘公園」下車徒歩 1 分

【プログラム】

19:00～20:00

ビル・スウィーニー氏によるご挨拶／栗栖 良依氏による講演

コーディネーター：湯浅 真奈美氏（ブリティッシュ・カウンシル アーツ部長）

20:00～20:30

ティータイム（ケルト音楽の生演奏付き）

* 英国のテーブルコーディネーターや、ケルト音楽を楽しみながら、紅茶やお菓子をお召し上がりください。

○ゲスト：ビル・スウィーニー氏（英国オリンピック委員会 CEO）

大手スポーツ用品メーカーのビジネス開発グローバル責任者等を経て 2013 年から現職。

3度の夏季冬季オリンピックで Team GB（英国オリンピック代表チーム）を率いる。Team GB はリオ 2016 大会で国別メダル獲得数世界第 2 位。

○講師：栗栖 良依氏

「日常における非日常」をテーマに、アートやデザインの領域に収まらない自由な発想で、異分野・異文化の人や地域を繋げ、新しい価値を創造するプロジェクトを多方面で展開。2010 年、骨肉腫による右下肢機能全廃で障害福祉の世界と出会う。翌年、SLOW LABEL 設立。ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014 総合ディレクター。第 65 回横浜文化賞「文化・芸術奨励賞」、タイムアウト東京 LOVE TOKYO AWARDS 2016 face of tokyo 受賞。

【定員】

60 名（小学生未満の方はご遠慮ください）

【参加費】

無料

【申込方法】

○事前申込制・先着順

○メールもしくは FAX にてお申し込みください。

○記入事項：

(1) 講座「英国と横浜を知る講座」受講希望

(2) 参加者全員の氏名

(3) 代表者の電話番号

○手話通訳が必要な場合は、その旨お知らせください。

○定員超過の場合を除き、連絡はいたしませんので、直接会場へお越しください。

【締切】

平成 30 年 11 月 26 日(月)

【連絡先】 横浜市市民局オリンピック・パラリンピック推進課

(TEL) 045-671-3690 (FAX) 045-664-1588

(Eメール) sh-olypara@city.yokohama.jp

【主催】

横浜市

【協力】

ブリティッシュ・カウンシル/デザインチームリビウ/慶應義塾大学ケルト音楽愛好会

PDFはこちら>>

<https://gogb2020.jp/wp->

[content/uploads/2018/11/771ae8dea0eb110adb056fc923f11b76.pdf](https://gogb2020.jp/wp-content/uploads/2018/11/771ae8dea0eb110adb056fc923f11b76.pdf)

英国と横浜を知る講座 参加申込方法

【申込方法】
○事前申込制・先着順
○メールもしくはFAXにてお申し込みください。
○記入事項：①講座「英国と横浜を知る講座」受講希望
②参加者全員の氏名
③代表者の電話番号
○手続通知が必要な場合は、その旨お知らせください。
○定員超過の場合は残念。連絡はいたしませんので、お返事控えへお越しくください。

【申込先】
〒220-8588 横浜市西区南幸2-1-1
【連絡先】
横浜市市民局オリンピック・パラリンピック推進課
(TEL) 045-671-3690 (FAX) 045-664-1588
(Eメール) sh-olypara@city.yokohama.jp

～2020年、英国事前キャンプ横浜実施決定！～

事前キャンプは、選手村に入村する前に練習や気候に慣らし、コンディションを整えるためのトレーニングです。

【実施期間】 オリンピック代表チーム：2020年7月(予定)
パラリンピック代表チーム：2020年8月(予定)

【キャンプ予定地】 横浜国際プール(都筑区)
慶應義塾大学のキャンパス(横浜区)
※最終日程等により、変更となる可能性があります。

英国事前キャンプ必須サイトにアクセス！
英国オリンピック・パラリンピック代表チーム派遣サイト「GO・GB・2020」では事前キャンプ情報など様々な情報を発信し、応援の機運を盛り上げていきます。



世界とつながろう！ホストタウン

英国と横浜を知る講座
～英国の共生社会文化から学ぶ～

英国オリンピック委員からゲストをお迎えし、筆耕 良治氏による、英国の共生社会文化に特化した講演、英国文化を体験するプログラムを開催します。

ゲスト(予定) 講師(予定)

【日時】
平成30年12月3日(月) 19時～20時30分

【場所・アクセス】
横浜イギリス館(横浜市西区山手町115-3)
○電車：みなとみらい線「山手・南幸」駅下車、徒歩約5分(山手駅側から徒歩6分)
○バス：山手「山手駅」駅から、徒歩約5分(山手駅側から徒歩6分)
※徒歩約5分は「あかねバス」で「あかねバス山手駅」下車徒歩1分

【プログラム】
19:00～20:00 ビル・スウィーニー氏によるご挨拶/筆耕 良治氏による講演
コーディネーター：筆耕 良治氏(フットボール・コメンタリー・アナウンサー)
20:00～20:30 ティータイム(ケルト音楽の生演奏付き)
※英国のサーフ・コーディネーターや、ケルト音楽を演奏する方が、
祝祭的な様子をお楽しみいただけます。

【定員】
60名(小学生未満の方はご遠慮ください)

【参加費】無料

【事前申込制】要領書をご覧ください。

主催 横浜市
後援 ブリティッシュ・カウンシル/デザインチームリビウ/慶應義塾大学ケルト音楽愛好会

2018.12.26 イベント | 横浜市

【横浜市イベントレポート】12月3日(月) 英国事前キャンプ・ホストタウン応援企画「英国と横浜を知る講座～英国の共生社会文化から学ぶ～」を実施しました！



横浜市では、2020 年に向け英国代表チームを迎え入れる機運を醸成していくため、様々な分野において英国事前キャンプ・ホストタウンに関連した取組を進めています。

今回、英国オリンピック委員会からゲストをお迎えし、栗栖 良依氏による英国の共生社会に着目した講演、英国文化を体験するプログラムを開催しました。

当日は、事前にご応募いただいた約 50 名の方にご出席いただき、イギリス館の会場がほぼ満員となりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました！

講演会の様子を少しご紹介します。

はじめに、ビル・スウィーニー英国オリンピック委員会 CEO からご挨拶をいただきました！

ビルさんからは、「東京 2020 大会は日本が持つ文化などを世界に発信する貴重な機会です。また、Team GB の若い選手にとっては、ここ横浜が来日してはじめての場所となります。東京 2020 大会が素晴らしい大会となることをお祈りしています。」とのお言葉をいただきました。

続いて、ブリティッシュ・カウンシルの湯浅 真奈美さんにファシリテーターを務めていただき、栗栖さんをご紹介いただき、講演が始まりました。

栗栖さんは、骨肉腫を発症し、手術、治療という経験を経て、2011 年に横浜ランデヴープロジェクトから生まれたプロダクトブランドとして「SLOW LABEL (スローレーベル)」を設立されました。

多くの障害者施設を訪れ、様々な人々との出会いを通して、一人ひとり違うことのすばらしさに気付いたそうです。

そして、2012年ロンドンパラリンピックの閉会式では、障害者が特別な存在としてではなく、パフォーマンスに参加している様子に驚き、日本・横浜でもできるのではないかと2014年に「ヨコハマパラトリエンナーレ」を立ち上げてSLOW LABELをNPO法人化（※1）しました。そして、表現者として舞台に立ちたいと願う誰もが、障害を理由にあきらめなくてすむ環境をつくる、ことを目標に、東京2020大会に向けて、障害のある人のパフォーマンスを支援する「アクセスコーディネーター（※2）」「アカンパニスト（※3）」といった人材の育成にも着手されているそうです。

栗栖さんは、2016年のリオパラリンピックのフラッグハンドオーバーセレモニーでは、ステージアドバイザーを務められました。

その後は、エアリアル（舞台での空中演技）を使ったトレーニングを日本で取り入れるため、障害のある人を指導できる指導者をまず日本で育成したいと考え、イギリスの指導者を招き、指導者育成に取り組んでおられます。これまでもイギリスのアーティストチームに協力していただき、今後も引き続き積極的に取り組んでいきたいとのこと。

目指しているのは、2021年以降、障害のある人が、自分の住んでいる地域で、自分の好みやレベルに応じたプログラムに障害のない人に混ざって参加できるようになること、と話されています。

- ※1 現代社会のファストな動きを少しゆっくり（スロー）にしてみると、だれもが生きやすい社会になるのでは、との考えから設立されたNPO法人。アートのかで多様性と調和のある社会の実現を目指す。
- ※2 障害のあるアーティストが舞台上がるまでのバリアを取り除き、創造性が発揮できる環境を整える人材。
- ※3 障害のあるアーティストと一緒に舞台上がり創作の可能性を一緒に広げる伴走者。



講演の後には、同じく Team GB の事前キャンプ地となることが決まっている慶應大学のケルト音楽愛好会の皆さんによる演奏です。この日のために、イングランドの楽曲も練習を積んできてくれました。



ティータイムのご協力は、Design Team Liviu の皆さんで夜の時間に合う、少しボリュームのある英国の代表的なメニュー（ミンスパイ、ソーセージパイ、ショートブレッド）を用意してくれました。本当のアフタヌーンティーは、もっと豪華なもので、ちょっと違うとのこと。次回は、本物のアフタヌーンティーもぜひ、体験してみたいですね。



12月、山手西洋館8館では、世界のクリスマス 2018 を実施しています。当日、イギリス館では、Design Team Liviu の葛西さんと石畑さんによるイギリス風の素敵なクリスマス装飾で彩られています。その一部を会場でも展示していただきました。



講演、演奏、ティータイムとイギリスが満載な、盛り沢山のイベントでした。次回をお楽しみに！

2019.02.04 ニュース | 横浜市

内閣官房ホストタウンアクション／日英交流年 UK in Japan 2019-20 プレ企画 公民連携でインナーハーバー地区の再生を考える共創ラボを開催します！



横浜市の英国ホストタウンアクション第2弾として、ダイバーシティ、インクルージョン、オープンイノベーションの視点から、インナーハーバー地区（横浜駅周辺、新高島地区、ポートサイド地区等）を公民連携でどのように再生していくかをテーマとし、関連する企業やNPO、学校教育機関等と共にワークショップやフォーラム（「共創ラボ」）を開催します。

今回の「共創ラボ」では英国よりグローバル・ディサビリティ・イノベーション・ハブ（GDI-Hub）のイアン・マッキノン氏をお招きし、ロンドン2012オリンピック・パラリンピックの開催を契機として誰もが住みやすい街づくりを実現した英国の事例を伺います。

貴重なお話をお聞きする機会ですので、ぜひお越しください！

【概要】

日時：平成31年2月6日（水）10時～20時

会場：横浜駅周辺（パナソニックリビングショウルーム横浜、情報科学専門学校等）

ゲスト：

【2・3部のみ】イアン・マッキノン氏（GDI-Hub オペレーション・ディレクター）

【3部のみ】藤原 徹平氏（横浜国立大学大学院建築都市スクール(Y-GSA)准教授）

【プログラム】

第1部：10:00~12:00

パナソニックリビングショウルーム横浜会議室

<セッション1>

誰もが快適かつ安全に生活できるインナーハーバー地区をテーマとして、NTTによる心のバリアフリー・障害理解研修のほか、関係事業者や住民、学生、行政職員等で話し合います。

第2部：14:00~16:30

インナーハーバー地区（横浜駅構内を除く）

※14時にパナソニックリビングショウルーム横浜にお越しください

<ワークショップ>

グループに分かれ、NTTの情報収集技術を使用してインナーハーバー地区（横浜駅周辺、新高島地区、ポートサイド地区）のまちあるきを行い、バリアフリー情報を収集します。

第3部：17:30~18:00 / 18:00~20:00

情報科学専門学校8階 大会議室

<基調講演>

イアン氏に英国におけるインクルーシブデザイン的具体例等をお話しいただきます。

<セッション2>

横浜国立大学大学院建築都市スクール(Y-GSA)准教授の藤原徹平氏とイアン氏の対談を軸に、オープンイノベーションのプラットフォームとしてのインナーハーバーの可能性について議論します。

【参加申込方法】

- 事前申込制・先着順（100名程度）、参加費無料
- メールもしくはfacebook イベントへの「参加する」表明によりお申し込みください。「第1部」、「第2部」、「第3部」それぞれの部のみの参加も可能です。
- メール申込みの場合は件名に「2/6 共創ラボ参加希望」、本文に参加するプログラム（第〇部）を記載。
- 手話通訳が必要な場合は、その旨お知らせください。
- 定員超過の場合を除き、連絡はいたしませんので、直接会場へお越しください。

【締切】

平成31年2月5日(火) 17時まで

【申込先】

メール：localgood@yokohamalab.jp

facebook イベント：<https://www.facebook.com/events/1110928075735697/>

【主催】

横浜市（政策局・市民局）、横浜国立大地域ブランドラボ

【協力】

駐日英国大使館、ブリティッシュ・カウンシル、情報科学専門学校、日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、LOCAL GOOD YOKOHAMA、横浜リハビリテーション専門学校

【ゲスト紹介】

イアン・マッキノン氏 (GDI-Hub オペレーション・ディレクター)

英国のクイーンエリザベス・オリンピック・パークを手がけるロンドンレガシー開発公社 (LLDC) にてインクルーシブデザインを指揮。英国アクセスコンサルタント (NRAC) のメンバーとして、複合施設の基本計画、新旧建築物、製品から会場やライブイベントの運営面まで、幅広いプロジェクトに対して創造的かつ革新的なソリューションを案出し、インクルーシブデザインに関するアドバイスを提供している。

これまでの経験を踏まえ、現在は「人々のためのデザイン」に対する考え方やアプローチを、建築、都市、製品、サービス、デジタル、ファッション、グラフィックといったあらゆる分野のデザイナーとともに変えていくことを目指している。また、障害のある人々や高齢者のニーズを尊重し主流化することが、結果的にあらゆる人の生涯にわたる豊かな暮らしにつながることを強く提唱している。

【グローバル・ディスアビリティ・イノベーションハブ (GDI-Hub)】

2012年ロンドンパラリンピック競技大会の主要なレガシープロジェクトの一つとして設立された。大学および文化機関の協働組織としてクイーン・エリザベス・オリンピック・パークを拠点に、地域コミュニティ、研究者、専門家、障害のある人々を結びつけ、ロンドン2012パラリンピック競技大会によって培われた経験と、障害に関する最先端の専門性を融合することで、さらなるイノベーション、共同デザイン、クリエイティブ・シンキングをグローバルに推進している。

【会場】

■パナソニックリビングショウルーム横浜

住所：横浜市神奈川区金港町 2-6 横浜プラザビル 1F

■情報科学専門学校

住所：横浜市神奈川区鶴屋町 2-17 相鉄岩崎学園ビル

リンク：横浜市記者発表

(<http://www.city.yokohama.jp/ne/news/press/201902/20190201-031-28971.html>)

2019.02.24 イベント | 横浜市

日英交流年 UK in Japan 2019-20 プレ企画 Gap を超えて～ストップギャップ ダンスカンパニー講演会～を開催します！



横浜市のホストタウンとしての取組第3弾として、「Gap を超えて」をテーマに、英国の「ストップギャップ ダンスカンパニー」をお迎えし、そのインクルーシブなビジョンや活動内容についてお話しいただく講演会を開催します。

「ストップギャップ ダンスカンパニー」はイングランドを拠点に、障害のある／なしを越え、参加するアーティストが丸となって新しい舞台の創造に取り組むダンスカンパニーです。

人々の勇気やもろさ、さまざまな人間模様を描き出す詩的でエモーショナルな作品はイギリス全土で旋風を巻き起こしてきました。未来のアーティストたちの育成やアウトリーチ事業など、誰もがダンスを楽しめる環境づくりや人々の既成概念を取り除くことに努めてきた彼らのパイオニア精神は、社会教育の現場でも高く評価されています。

貴重なお話を聞ける機会ですので、ぜひお越しください！

【概要】

日 時：

平成31年3月4日（月）18時～19時30分（開場17時30分）

会 場：

慶應義塾大学日吉キャンパス協生館2階 多目的教室1（港北区日吉4-1-1）

ゲスト：

ストップギャップ ダンスカンパニーから3名のゲスト

- ・ ルーシー・ベネット氏/ストップギャップ ダンスカンパニー芸術監督
- ・ デーヴィット・トゥール氏/ストップギャップ ダンスカンパニー メンバー
- ・ 柴田 翔平氏/ストップギャップ ダンスカンパニー エグゼクティブ・プロデューサー

モデレーター：

横山 千晶氏（慶應義塾大学法学部教授）

プログラム：

ストップギャップ ダンスカンパニーによるプレゼンテーション / 会場の皆様とのトークセッション

【参加申込方法】

- ・ 事前申込制・先着順（60名程度）、参加費無料
- ・ 「参加申込フォーム」もしくは「FAX」によりお申し込みください。
- ・ FAXの場合は次の記入事項を記載して（045-664-1588）まで送付ください。
- ・ 「ストップギャップ ダンスカンパニー講演会申込」

（1）参加者の氏名

（2）参加者の電話番号

※定員超過の場合を除き、連絡はいたしませんので、直接会場へお越しくください。

※手話通訳が必要な場合は2月28日までにその旨お知らせください。

【締切】

平成31年3月1日(金) 17時まで

【申込先・問合せ】

○参加申込フォーム：

[https://www.e-](https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/form.do?id=1550626483976)

[shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/form.do?id=1550626483976](https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/form.do?id=1550626483976)

○FAX:045-664-1588 ○TEL:045-671-3690

(市民局オリンピック・パラリンピック推進課)

【主催】 横浜市、ブリティッシュ・カウンシル

【協力】 世田谷パブリックシアター

【会場】 慶應義塾大学日吉キャンパス協生館（横浜市港北区日吉4-1-1）



【ストップギャップ ダンスカンパニー ゲスト紹介】

ルーシー・ベネット氏

2003年よりストップギャップに参加。アダム・ベンジャミン、ホフェッシュ・シェクター、ナタリー・ペルネット、トーマス・ヌーンらの作品などに参加する一方、自らの振付作品を発表。カンボジアのエピック・アーツへの振付や、パラリンピックのためのリバティー・フェスティバル、UKカルチュラル・オリンピアドのための作品を発表。レジデント・コリオグラファーを経て、12年よりカンパニーの芸術監督に就任。

デーヴィッド・トュール氏

英ラパンセンターでダンスを学び、1993年よりカンドューコ・ダンスカンパニーに参加。グレイアイ・シアター、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーなどに出演。DV8が制作したシドニー・オリンピックのための作品『Can We Afford This?』に参加。2012年のロンドン・パラリンピックの開会式ではソロパートを務める。俳優として、サリー・ポッター監督『タンゴ・レッスン』などにも出演。

柴田 翔平氏

幼少期よりテレビや映画、舞台などに出演。1995年より渡英し、2005年ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス卒業。研究テーマは、「社会環境における差別及び隔離化がいかにして生まれるのか。」卒業後は、アーツカウンシル・イングランド（サウス・イースト）に勤務し、2008年よりストップギャップ ダンスカンパニーに参加。ツアーマネジメント、アウトリーチ事業の他、様々なダンスプロジェクトを手掛ける。2009年より、ストップギャップの野外プロダクションの製作をスタートさせ、2012年にはロンドンオリンピック・パラリンピックのための文化プログラムへと発展、大成功を収める。カンパニーのフルタイム シニア・マネージャーを経て、現在はエグゼクティブ・プロデューサー。

【モデレーター】

横山 千晶氏（慶應義塾大学法学部教授）

専門は19世紀ヴィクトリア朝の文化。特にジョン・ラスキンやウィリアム・モリスを中心とした社会思想家が始めた社会と芸術の関係性の構築、及び19世紀の労働者を対象とした芸術教育を研究テーマとしている。

近著に『ジョン・ラスキンの労働者教育―「見る力」の美学』（慶應義塾大学教養研究センター、2018年）がある。



2019.03.01 ニュース | イベント | 横浜市

「芸術と社会をつなぐ―平等・多様性・包摂が開く、私たちの未来 ～日本とスコットランドの実践から～」を横浜で開催しました！



横浜市では、2020 年に向け英国代表チームを迎え入れる機運を醸成していくため、様々な分野において英国事前キャンプ・ホストタウンに関連した取組を進めています。

2019 年 2 月 19 日~21 日、今回スコットランドの文化芸術機関クリエイティブ・スコットランドよりミリカ・ミロシェビッチ氏をお迎えし、また日本国内からのゲストと共に文化芸術における平等、多様性、包摂 (Equalities, Diversity and Inclusion)※以下「E D I」についてのフォーラムとその実践に向けたワークショップを開催しました。



ミロシェビッチ氏は「英国では人々が文化芸術に関わることで、生活の質を向上させるという研究が、長年行われてきました。どうすれば人々が平等に生きられるのか、E D Iを通して考えてほしい。」と文化芸術事業の重要性を訴え、「英国では、E D Iがそれぞれの文化芸術事業で達成されているかどうかを必ず確認します。そうすることで、その政策に何が足りないのかを戦略的に考えることができる」と、その重要性を説きました。

たとえば、バレエ団が高齢者のダンス教室を提供したり、美術館で展覧会を開いた高齢者らがその様子をドキュメンタリー作品として制作したりするなど、平等、多様性、包摂を文化政策の中心に位置づけて実践しているとミロシェビッチ氏は言います。こうした取組は、アートが人々の自己肯定感や、健康面の向上にどう結び付くのか、客観的データとしても蓄積され、新しい政策にも生かされているそうです。



フォーラム・ワークショップ共に、先進的な取組を学ぼうと、文化事業に関わる専門家らが、全国から参加し、「芸術へのアクセス面について、これまで以上に意識的に取り組みたい」「アートで社会課題を積極的に解決したい」といった感想が寄せられました。



2019.03.31 ニュース | イベント | 横浜市

**英国事前キャンプに向けて、都筑区では日本と英国の文化交流講座など
様々な取り組みを実施しました！**



1 文化交流講座「日本とイギリス 文化の融合 コッツウォルズストーンと苔玉づくり」

日本と英国、両国で盛んな『自然を活かす』文化をテーマとしたイベントを開催しました。都筑民家園で開催されたイベントにはドイツ、スペイン、インドなどの外国人も参加し、苔玉づくり、ボタニカルアート（植物画）、茶の湯を通じた交流が行われました。



苔玉づくり



ボタニカルアート



茶の湯

2 “GO GB 2020”階段装飾

英国オリンピック代表チーム（Team GB）、英国パラリンピック代表チーム（ParalympicsGB）をお迎えするため、横浜市営地下鉄グリーンライン北山田駅から横浜国際プールへと向かう大階段に、英国を応援するメッセージ“GO GB ”を設置しました。



3 区民まつりでの英国ホストタウン PR

都筑区民まつりに、英国代表チームの事前キャンプ地となる慶應義塾大学の KEIO 2020 project の学生に協力をいただき、PR ブースを出展しました。英国の紅茶や紹介パネルなどでホストタウンを PR しました。



2019.04.25 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

GO GB 2020 新コンテンツ公開

以下のコンテンツを新たに公開しましたのでご紹介します。

■英国代表チームを応援する

「英国代表チームを応援する」の「英国代表チームについて」では、英国代表チームのこれまでの活躍をインフォグラフィックで紹介しています。「選手紹介」は後日公開予定です。

■GO GB コラム

事前キャンプで使用する施設や周辺にある英国ゆかりの地を紹介しています。今後は英国代表チームに関する記事など、テーマも増える予定です。

■GO GB 応援ムービー

横浜市・川崎市・慶應義塾大学が「GO GB」を合言葉に英国代表チームを応援する動画を製作しました。皆さんも一緒に英国代表チームを応援しましょう！

これからもニュースやコラムを発信していきますので、楽しみに！

2019.05.07 イベント | 横浜市

【横浜市イベントレポート】英国船籍の豪華客船「クイーン・エリザベス」が3年ぶりに横浜に寄港！～英国事前キャンプ・ホストタウンをPR～



10連休となった今年、ゴールデンウィーク期間中の横浜港(大黒ふ頭、大棧橋ほか)には、様々なクルーズ船が寄港しました。その中で3年振りにイギリスの豪華客船「クイーン・エリザベス」が大黒ふ頭に寄港しました。



3年ぶりに寄港したクイーン・エリザベス@スカイウォークから



横浜ベイブリッジの下を船が通過するのを間近に見られる展望台

また、2010年9月に閉鎖されて利用を休止していた「スカイウォーク」が、大黒ふ頭に着岸するクルーズ船やベイブリッジの下を通過するクルーズ船の見学施設として一部開放、利用が再開されました。それらを目的にいらした客船ファンや、客船見学会の一般参加者の皆さんが多く訪れました。

ブースでは、2020年に事前キャンプ地に決定し、また、ホストタウンとしても登録されている英国チームと横浜のつながりなどのパネルを展示し、受け入れ体制や施設についてもお知らせする機会となりました。

多くの市民の皆様が英国事前キャンプを受け入れる横浜として、今後、英国代表チームがやってくるこの機会に、英国の選手との交流や、文化を体験するプログラム等を開催するなど、豊かな英国文化に触れて楽しんでもらえるようPRしました。



客船を見学に来られた一般参加者向けに英国事前キャンプのPRブースを出展。



クイーン・エリザベスを背景に GO GB を P R !

「クイーン・エリザベス」を背景に、イギリスと横浜をつなぐ親善大使の「ひつじのショーン」のパネルのフォトスポットが大人気。「GO GB」を掲げて写真を撮って頂いた皆様にグッズをプレゼントするなど、豪華客船に想いを馳せる来場者の皆様へ、英国事前キャンプについて PR しました。

2019.05.20 イベント | 横浜市

【横浜市イベントレポート】ローズ&ガーデンマーケットで英国事前キャンプホストタウンを PR!!～英国と横浜をつなぐ親善大使のひつじのショーンが大活躍!～



この週末は、毎年恒例の2019ITU世界トライアスロンシリーズ・パラトライアスロンシリーズ横浜大会も開催されており、世界の鉄人アスリートを応援に来られる市民や観光客で賑わっていました。

また、今回初開催となる「横浜ローズウィーク」の一環で日本大通りにおいてローズ&ガーデンマーケットが開催され、英国事前キャンプホストタウンをPRするブースを出展させていただきました。

ここでは、英国事前キャンプについてのパネルを展示し、英国と横浜をつなぐ親善大使の「ひつじのショーン」のオリジナル缶バッジのワークショップを実施。また、折り紙で作ったバラに英国チームへメッセージを書くなど、多くの方に参加していただきました。



ワークショップで作成したひつじのショーンと GO GB のオリジナル缶バッジ！



親子でショーンの缶バッジを作成し大喜び！



ひつじのショーンの缶バッジのワークショップに長蛇の列！



バラをかたどった折り紙に英国チームへメッセージを書いていただきました。

また、「ひつじのショーン」も大きなバラの花を持って登場し、「GO GB」を合言葉にショーンと一緒に写真を撮るなど、英国事前キャンプのPRと賑わいづくりに大活躍でした。

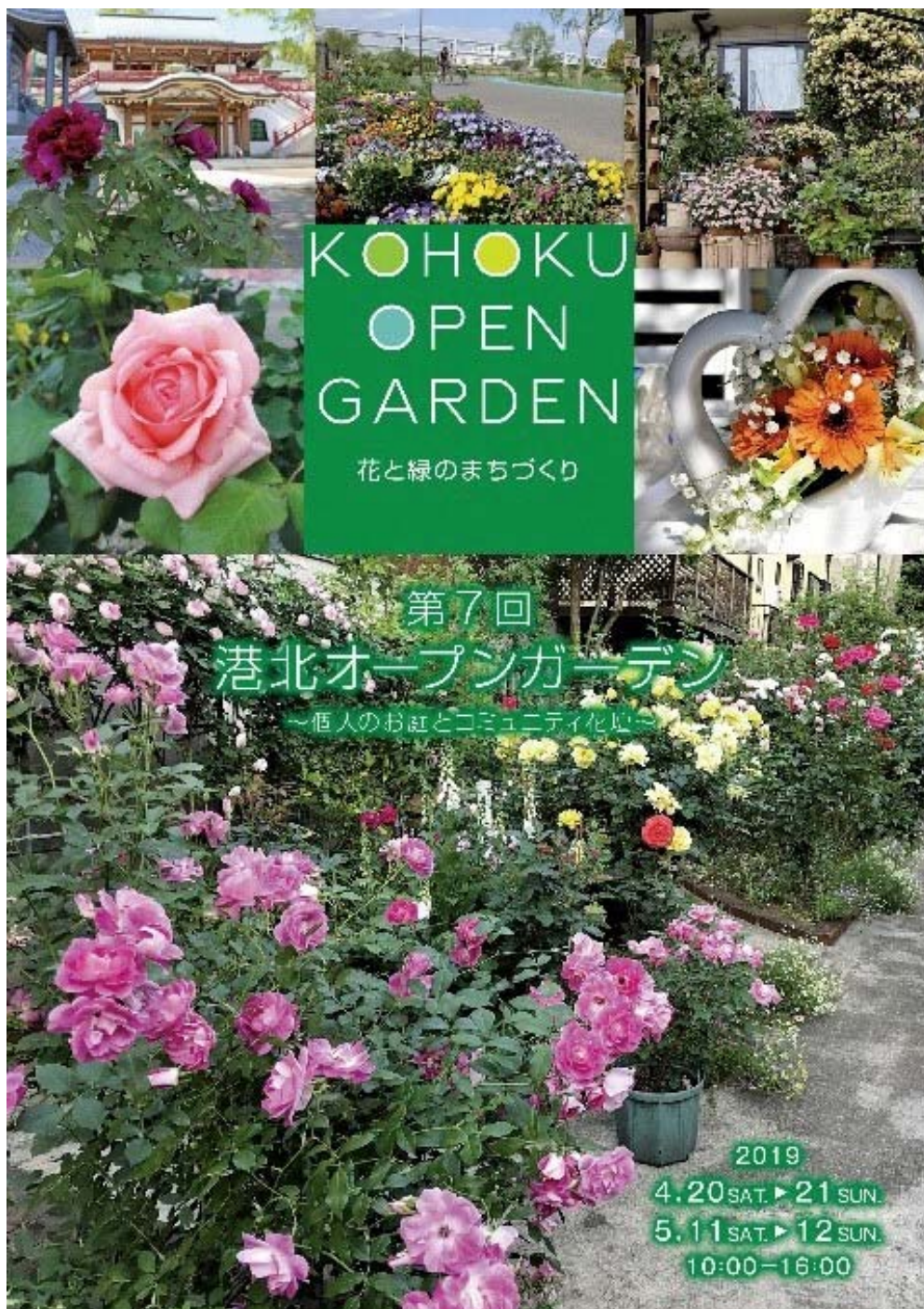
多くの来場者にご参加頂き大盛況の2日間でした。



ひつじのショーンとワンちゃんも仲良くツーショット！

2019.05.31 イベント | 横浜市

【横浜市レポート】第7回港北オープンガーデンを開催しました！



平成31年4月20日（土）・21日（日）、令和元年5月11日（土）・12日（日）に「第7回港北オープンガーデン」を開催しました。

オープンガーデンとは、ガーデニングの盛んな英国で始まった、個人の庭を一般に開放して、訪れた人との交流を深めながら季節の植物を楽しむイベントのことです。7回目の開催となった今回は、過去最多の100会場が参加しました！



英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショーン」と「港北区ミズキー」がコラボレーションし、参加会場を回るスタンプラリーや着ぐるみとのグリーティングも実施しました。

4日間合計で約 8,400 人に来場いただき、大変盛り上がりました！

2019.06.04 イベント | 横浜市

【横浜市イベントレポート】2019 世界トライアスロンシリーズ横浜大会・世界パラトライアスロンシリーズ横浜大会 英国トライアスロンチーム・パラトライアスロンチームとの交流



大会前日の 5 月 17 日(金)に、英国トライアスロンチーム・パラトライアスロンチーム 17 人と横浜市立本町小学校 5 年生 30 人の児童の皆さんとの交流プログラムを実施しました。

交流会会場では、本町小学校の児童の皆さんが「GO GB」の旗を振って英国選手をお迎えしました交流会のスタートです。



はじめに ITU 事務局長からごあいさつ



5つのグループに分かれて積極的に質問を投げかけていました。

英国チーム自己紹介ののち、5つのグループに分かれて生徒たちの自己紹介。英語でチャレンジする児童も多く選手も熱心に耳を傾けてくれました。

児童から選手への質問では、「競技を終えた時はどんな気持ち?」「もし、自転車がこわれちゃったら、どうする?」「トライアスロンをはじめたきっかけは?」「3種目(水泳・自転車ロードレース・長距離走)の中で、いちばん大変な種目は?」など質問が飛び交い、選手の皆さんの答えを真剣にメモを取っていました。



優しく答える英国選手

また、選手たちにお気に入りの応援フレーズを教えてください、各グループごとに発表！「GO GB!」「Come on!」「Let's Go GB!」「ICE (S)CREAM!」などグループごとにまとめた内容を児童の皆さんは立派に発表してくれました。



最後に、四季の森小学校の児童の協力で作成してくれた花の写し絵カードに、児童が英国チームあてにカードにメッセージを書いてプレゼント。



児童のメッセージカードをプレゼント！

更に本町小学校の児童から、歌と踊りと応援のプレゼントに英国選手の皆さんは大喜びでした。そして、レース前の緊張がほぐれた選手等全員で記念写真を撮って、ハイタッチで選手たちを送り出しました。



児童全員で英国チームの皆さんに歌とダンスでエールを贈りました



最後はハイタッチでお見送り。

2019.06.21 ニュース | イベント | 横浜市

【横浜市イベントレポート】「2019 ふるさと港北ふれあいまつり」で英国事前キャンプPRブースを出展しました！



令和元年6月1日（土曜日）、晴天の中「港北区制 80 周年記念 2019 ふるさと港北ふれあいまつり」が開催され、英国事前キャンプPRブースを出展しました。

ブースでは、同じく英国代表チーム事前キャンプを受け入れる慶應義塾大学から、学生によるサポートプロジェクト「KEIO 2020 project」の皆さんと一緒に、紅茶の試飲、クロッケー体験、ロンドン街並み輪投げ、ひつじのショーンのフォトスポットなど英国文化を体験するプログラムを実施しました。

おまつりは約5万人の方が来場し、ブースにも約500人の方に訪れていただきました！

クロッケーを初めて体験する方も、ひつじのショーンパネルと一緒に写真を撮る方も、笑顔にあふれていました。



2019.10.08 ニュース | イベント | 横浜市

【横浜英国プレ事前キャンプレポート・第1弾！】横浜国際プールで英国水泳代表チームのプレ事前キャンプが行われました！



2019年7月8日(月)～16日(火)に、2019年世界水泳選手権（7/12～28に韓国・光州で開催）に向けた英国水泳代表チームのプレ事前キャンプが横浜国際プール（横浜市・都筑区）で行われました。

英国代表チームは総勢 56 人が来日（選手 30 人・スタッフ 26 人）。ボランティアとして、総勢 33 人の方々にお手伝いいただき、9 日間に渡り英国選手の皆さんのトレーニングをサポートしました。

7月8日(月)、キャンプ初日の朝は、近隣小学校の児童の皆さんが「GO GB」の旗などを手に、チームの皆さんをお出迎え。選手もスタッフも、子どもたちの歓迎ぶりに、思わず笑みがこぼれ、初日のトレーニングに向け、国際プールへと入って行きました。



近隣小学校児童の皆さん、およそ 370 名でお出迎え

横浜国際プールでは、選手たちの活躍を願って、英国チームが主に使用するメインプールを中心に、英国旗や応援旗、児童有志によるガラスアートなどで装飾。沢山の英国旗や GO GB のメッセージで応援を伝えました。



メインプール装飾の一部

キャンプ期間中には、地元の子どもたち向けに公開練習なども実施したほか、トレーニングの合間には、英国チームの皆さんに少しでも日本文化を体験していただこうと、着付け、書道、折り紙など日本文化を体験できるプログラムを用意しました。



英国代表チームのトレーニングの様子



公開練習の様子



選手たちが着物に挑戦！

キャンプ最終日には、子どもたちによる歓送セレモニーを実施しました。子どもたちからはリコーダー演奏をプレゼントするなど、キャンプ後に世界水泳に挑む選手たちにエールを送りました。選手はもちろん、スタッフの方々も終始リラックスした様子で、横浜での9日間の事前キャンプを終え、韓国・光州で行われる世界水泳 2019 へいざ出発！



歓送セレモニーの様子



英国チームからのお礼のメッセージ

後日行われた世界水泳大会では、リオ 2016 大会の金メダリスト、アダム・ピーティ選手が、得意の平泳ぎで世界新記録をマークするなど英国チームは活躍し、獲得したメダル数は合計 7 個（金・3 個／銀・1 個／銅・3 個）！

2020 年に向け、多くの収穫のあるプレ事前キャンプとなりました。

第 2 弾では、公開練習の詳細についてお伝えします！

2019.10.15 ニュース | イベント | 横浜市

【横浜英国プレ事前キャンプレポート・第2弾！】公開練習に総勢 700 名の子どもたちが参加しました！



7月8日(月)～16日(火)、横浜国際プールで行われた英国水泳代表チームのプレ事前キャンプ。キャンプ期間中の7月12日(金)と13日(土)には公開練習を行いました。

オリンピックのメダリストも多数在籍する英国の水泳代表チーム。

参加した総勢 700 名の子どもたちは、世界的なトップアスリートたちの生の泳ぎを間近で見学しました。



選手たちのトレーニングの様子を見守る子どもたち

まずは、横浜国際プールの林支配人による解説を聞きながら、選手たちの迫力ある泳ぎを見学。選手たちがリレーの練習やタイムをとる練習を始める時は英国チームのスタッフたちが教えてくれ、子どもたちも「GO GB!」の掛け声とともに、熱心に声援を送っていました。

その後、英国チームのスタッフやトレーニングを終えた選手が、子どもたちがいる観客席まで来てくれ、子どもたちからの質問に答えてくれました。



選手たちとの質疑応答の様子

選手たちへの質問タイムでは、

「一日の練習時間はどのくらいですか？」や「どうして水泳を始めようと思いましたか？」

「どうやったら練習に集中できますか？」など、多くの質問が飛び交っていました。

リオ 2016 大会で銀メダリストのジェームス・ガイ選手は、「僕は 3 才までは、まったく泳げず金槌だった。でも学校に通うようになって、水泳の楽しさを知り、地元の大会に出られるように頑張って練習を積み重ねた結果、今の僕がある」と、何事にも日々の努力が大事だということ子どもたちに教えてくれました。

最後は、選手の皆さんが子どもたちに交じって、記念撮影。



貴重な体験をした子たちは、みんな笑顔で会場を後にしました。

第3弾では、英国選手への日本文化体験の様子をお伝えします！

2019.10.21 ニュース | イベント | 横浜市

【横浜英国プレ事前キャンプレポート・第3弾！】英国水泳チームが日本文化を体験！



英国水泳代表チームのプレ事前キャンプ中には、7月12日(金)と15日(月)の2日間、英国チームに向けた日本文化の体験プログラムを実施しました。

今回、英国チームの皆さんに日本文化を味わっていただこうと用意したのは、着付け体験、書道レッスン、折り紙レッスンの3つのブース。それぞれのブースでは、都筑区で活動する講師の先生方にご協力いただきました。

トレーニングの合間に設けられた日本文化体験プログラム。休憩時間とあって、リラックスした様子の選手やスタッフの皆さんが、ブースに立ち寄ってくれました。

女性に人気だったのは、浴衣・着物の着付け体験。鮮やかな色合いの着物の袖に手を通し、皆さん、思い思いのポーズで写真を撮っていました。



折り紙レッスンでは、皆さん、折り鶴に挑戦。初めての折り紙に少々苦戦しながらも、色とりどりの折り鶴を綺麗に作っていました。



先生ご持参の折り紙作品にも皆さん感嘆していました

書道体験では、英語で意味が添えられた漢字リストから、思い思いの漢字を選んだり、自身の泳法の漢字を聞いて、はがきに筆ペンで清書。特に人気があったのは、名前を漢字で書くプログラムで、書道の講師の方に自分の名前を漢字で書いてもらい、その後何度も熱心に練習していました。自分だけではなく、家族や友人の名前などをカードに書いて持ち帰っていく選手も。



慣れない環境の中、毎日非常にハードな練習メニューをこなす選手たちにとって、この日本文化体験プログラムが憩いの場となっていたら幸いです。

第4弾では、横浜国際プールの装飾についてお伝えします！

2019.10.29 ニュース | イベント | 横浜市

【横浜英国プレ事前キャンプレポート・第4弾！】横浜国際プールが英国歓迎ムード一色に！



9日間に渡る英国水泳代表チームのキャンプ期間中は、歓迎の気持ちを伝え、世界水泳での英国選手の皆さんの活躍を願うため、会場となった横浜国際プールを様々な形で装飾しました。

まずは、横浜市営地下鉄グリーンライン北山田駅から横浜国際プールまでの長い階段に、近隣の住民の方々のご理解、ご協力のもと、のぼり旗と階段装飾を設置。



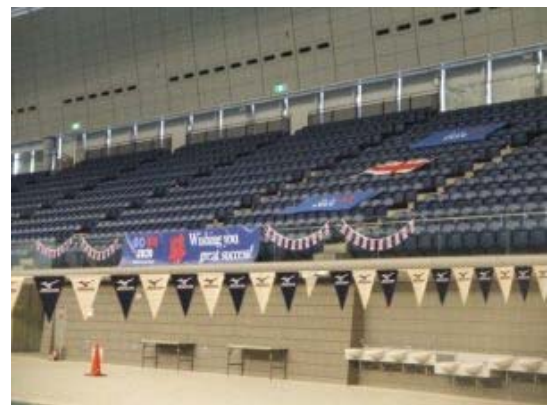
北山田駅から国際プールまでの階段装飾

車両で入ってくると一番に目に入る、横浜国際プール正面入り口のポールには、英国旗と横浜国際プールの旗が掲げられました。



正面入口ではためく英国旗

英国水泳チームが練習するメインプール内には、選手の皆さんに応援の気持ちを伝えるため、GO GB 2020の大きな応援バナーや「勝」と書かれた横断幕、英国の国旗ユニオンジャックを飾りました。



英国選手が主に利用するメインプール内装飾

選手やスタッフが使用するミーティングルームのガラスには、都筑区の子どもたちが作成してくれた、英国と横浜のモチーフをふんだんに取り入れた、色鮮やかなガラスアートを設置し、おもてなしました。



選手が SNS にも上げてくれた GO GB ガラスアート

一般のお客様も出入りする正面ロビーには、キャンプ期間前から英国応援ブースを設置。英国や英国と横浜のつながりを紹介する PR パネルや、英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショーン」のフォトパネルが置かれたほか、英国ぬりえのコーナーが登場！国際プールに来場した子どもたちがたくさん英国ぬりえを作ってくれ、前を通る選手のみなさんも嬉しそうに眺めていました。



メインプール入口前装飾



完成した英国ぬりえはプールの壁に展示！

最後のレポート、第5弾では歓送セレモニーについてお伝えします！

2019.11.05 ニュース | イベント | 横浜市

【横浜英国プレ事前キャンプレポート・第5弾！】 歓送セレモニーを行いました！



キャンプ最終日の7月16日(火)、世界水泳に向けた9日間に渡るキャンプを終えた英国代表チームの皆さんを送り出すため、近隣小学校の児童の皆さんによる歓送セレモニーを行いました。

横浜国際プールコーラスクラブの皆さんによる『Believe』の合唱にのせ、最終日の練習を終えた英国チームの皆さんが入場。



北山田小学校の皆さんからは、選手たち1人1人へのメッセージカードが贈られ、東山田小学校の皆さんはリコーダーで『世界の約束』の演奏をプレゼント。



続いて、横浜市（オリンピック・パラリンピック推進部・沼上部長）より、英国チームの皆さんに、激励の言葉とともに記念品を贈呈。



英国代表チームのリーダー、クリス・スパイスさんからは、お礼の言葉とチームの皆さんが寄せ書きをしたメッセージボードをいただきました。

最後に、全員で記念撮影。





子どもたちが花道を作ってくれ、英国チームの皆さんを無事に送り出すことが出来ました。

セレモニーに参加してくれた選手・スタッフは皆さん笑顔で横浜国際プールを後にしました。

9日間に渡る、横浜国際プールでの初めての英国事前キャンプは、2020年に向け様々な側面でコミュニケーションをする事ができる貴重な機会となりました。



児童の皆さんから選手たちへ贈られたメッセージカード

次回は1年後、いよいよ東京2020大会に向けた事前キャンプです！
これからも英国代表チームの応援をよろしくお願いします！

2019.11.11 ニュース | イベント | 横浜市

～日英交流年「UK in JAPAN 2019-20」～ B B Cスコティッシュ交響楽団の演奏者と横浜市内の小学生が音楽で交流



在日英国大使館とブリティッシュ・カウンシルが今年9月から1年間開催する日英交流年「UK in JAPAN 2019-20」の一環として、英国で125年の歴史を持つ、世界最大級のクラシック・ミュージック・フェスティバル「BBC Proms」が、日本で初めて開催されました。

開催に伴い初来日した「BBCスコティッシュ交響楽団」の演奏者と、北山田小学校4年生（93人）、東山田小学校5年生（110人）がそれぞれ、音楽による交流を10月28日（月）に行いました。

児童がスコットランドの旗やウェルカムボードを掲げてお迎え。演奏者の皆さんも笑顔で児童の前に出て、ハイタッチしたりするなどすぐに打ち解けました。



交響楽団からあいさつがわりの演奏で、交流がスタート！

はじめに、ラヴェルの「マザー・グース」から2曲「眠れる森の美女のパヴァーヌ」と「妖精の園」が演奏されました。児童たちは間近で、演奏にとっても興味深く耳を傾けていました。



つづいて、演奏者7人がそれぞれ自己紹介と楽器を紹介！楽器は、フルート、ホルン、トランペット、バイオリン、ビオラ、チェロ、パーカッションです。



BBCスコティッシュ交響楽団では、子どもや高齢者、障害者など、多様な方々との音楽を用いたワークショップを盛んに行っています。今回の交流の中でも、楽器を使わず、声や、体を叩いて音を出すボディパーカッションを使って、短い時間ながら全員で「コネクトイット」という一つの曲を作り上げました。



みんなでからだを動かした後は、交響楽団から、ムソルグスキー「展覧会の絵」から3つの曲「プロムナード」「古城」「卵の殻をつけた雛の踊り」が演奏されました。



最後は、スコットランドの伝統音楽の演奏にのって、児童たちの踊りで締めくくりました！



音楽交流の後、北山田小学校では、演奏者が各クラスに分かれて児童たちと一緒に給食を取りました。児童が英語で一生懸命話しかけたり、演奏者の皆さんにお箸の使い方を教えたり、お豆をお箸でつまむ難しさを楽しんだり、笑い声が絶えませんでした。



BBCスコティッシュ交響楽団の皆さんも、初めての日本で、横浜の子どもたちとの素晴らしい交流を持ってたことをとても喜んでくださいました。

貴重な機会をありがとうございました！横浜市としても、引き続き英国との様々な分野での交流に取り組んでいきます。



BBC Proms

1895年からロンドンを中心に毎年夏に行われる、世界最大級のクラシック・ミュージック・フェスティバル。「大和証券グループ presents BBC Proms JAPAN 2019」として、2019年10月30日から11月4日まで東京と大阪の2都市でアジア初の開催。世界中で活躍する音楽家が幅広いジャンルで、若者からファミリー層まで魅了する公演を提供。教育プログラムやアウトリーチも推進している。

BBCスコティッシュ交響楽団

1935年に結成され、グラスゴー市を本拠地とするスコットランドの国立放送管弦楽団で、スコットランド、英国および国外で演奏している。「BBC Proms」には1962年より出演。

2019.11.17 ニュース | イベント | 横浜市

英国選手に手紙を書こう！ in 都筑区民まつり ひつじのショーンも活躍！



11月3日（土）に行われた「第25回 都筑区民まつり」に、英国事前キャンプ・ホストタウンPRブースを出展しました。

都筑区民まつりは18区の中でも来場者数の最も多い区民まつりです。

今年もセンター南とセンター北を会場に沢山のブースや、ステージなどで多くの区民の皆さんで賑わいました。

今年の英国事前キャンプ・ホストタウンPRブースは、センター北駅前の会場で、日本郵便のみならずにもご協力いただき、横浜に事前キャンプに来る英国チームや選手への応援メッセージを書くワークショップを行いました。

参加者の皆様は、間近に迫ってきた東京2020大会に出場する、英国チームの選手への熱いエールを贈るメッセージや、地元都筑区の見どころ紹介したり、ユニオンジャックや英国と横浜をつなぐ親善大使のひつじのショーンを描くなど、多くの方に参加していただきました。

書いていただいたお手紙は今後、事前キャンプの際に展示し、英国チームの選手等にも見てもらう予定です。



当日のPRには、英国と横浜をつなぐ親善大使のひつじのショーも大活躍！

G O G Bを掲げ、区民まつりの会場を歩いて握手や写真を撮るなど英国事前キャンプのPRに一役買ってくれました。



2019.11.22 ニュース | 横浜市

【横浜市】11月5日（火）英国オリンピック委員会（BOA）新CEO アンディ・アンソン氏が林文子横浜市長を訪問されました



11月5日（火）、英国オリンピック委員会（BOA）の最高経営責任者（CEO）に就任したアンディ・アンソン氏が、シャハブ・ウディン法務局長とともに、林文子横浜市長を表敬訪問されました。



アンソン氏は、2019年5月にCEOに任命され、同年11月1日に就任されました。

アンソン新 CEO は、英国プレ事前キャンプをはじめとする今までの横浜市の協力に対し深く感謝の意を述べたほか、「チームとしても非常に素晴らしい横浜の施設に感銘を受けている、2020 年を十分に整った形で迎えられれば」との言葉をいただきました。

また、11 月 2 日に横浜国際総合競技場で行われたラグビーワールドカップ 2019TM 決勝戦を観戦され、「素晴らしいスタジアムとホスピタリティに感動した」との事で、東京 2020 大会に向けても、「ラグビーワールドカップの素晴らしい結果を拝見して、組織としても、サポート体制としても大変感銘を受けたので、次のイベントであるオリンピック・パラリンピックも十分成功すると自信を持っていえる」とも述べました。



林市長からは、「英国代表チームの事前キャンプ地に選ばれたことを光栄に思う。また、選手の皆さまには、市内の子どもたちとの交流機会をいただき、大変ありがたく思っている。今後も、選手の方が気持ちよく実力を出せるように、横浜市で一体となって、心をこめて全力で英国のみなさんをお手伝いさせていただく。」と、英国代表チームへの感謝と期待を伝えました。



(左から) 英国大使館ヘファー副部長、ウディン法務局長、アンソン CEO、林市長、西山スポーツ統括室長、石内市民局長

横浜市は、今後も引き続き、2020 年に BOA のみなさんが最高のパフォーマンスを発揮できるように、準備を進めていきます。

2019.12.20 ニュース | 横浜市

「英国パラリンピック委員会選手団長講演会」が桐蔭横浜大学で行われました



2019年12月4日(水)、桐蔭横浜大学において、英国パラリンピック委員会（BPA）選手団長のペニー・ブリスコー氏およびパフォーマンス責任者のトム・ポールソン博士が、桐蔭横浜大学でスポーツ科学について学ぶ学生ほかを対象に、「Towards Tokyo - 東京2020大会に向けて」をテーマに講演を行いました。



講演する英国パラリンピック委員会ペニー・ブリスコー氏とトム・ポールソン博士

両氏は、パラスポーツの歴史や東京 2020 大会での注目選手の紹介を交えながら、東京 2020 大会に向けて、英国パラリンピックチーム（ParalympicsGB）が行ってきた取組について発表しました。

また、スポーツを通じて障害者のためのより良い社会づくりを目指すというビジョンのもと、2012 年ロンドン大会が次世代の子どもたちにもたらした素晴らしい教育プログラムについても紹介しました。

最後に、2016 年リオ大会の際に、英国大手テレビ局 Channel 4 によって作成された英国パラ選手たちを応援する PR ビデオを鑑賞し、東京 2020 大会の成功を祈願して講演を締めくくりました。



講演会の様子



講演後、（左から）パラリンピアンである花岡選手、桐蔭横浜大の田中教授、ポールソン博士



学生らと談笑するポールソン博士



質疑応答の様子

2019.12.21 イベント | 横浜市

「英国女王陛下の近衛軍楽隊コンサート」を実施しました！



英国最古の伝統を誇る近衛軍楽隊
グレンディアガーズバンド 真紅の礼装と熊皮の黒い帽子
誇り高さファンファーレの響き

YOKOHAMA
OTOMATSURI
横浜音祭り

英国女王陛下の
近衛軍楽隊
コンサート

「日英交流年 UK in Japan 2019-20」参加企画

2019 10.14 (月・祝) 18:00 START
(17:30 OPEN)

神奈川県立音楽堂 Kanagawa Prefectural Music Hall

チケット[全席指定] S席 5,000円 A席 4,000円(税込)

※単々(25歳以下)・指定椅子席をお持ちの方:有料種10%割引
※障害者手帳をお持ちの方の割引は、横浜音祭りチケットセンター(045-453-5080)のみ取扱い
※軍楽隊の方は、横浜音祭りチケットセンター(045-453-5080)へお申し込みください。天候観望のお子さまのご入場はご遠慮ください。

横浜音祭りチケットセンター TEL.045-453-5080(神奈川県内)
平日10:00~18:00/土曜10:00~15:00(日曜・祝日休) <http://gaikyoku.jp/yokoato/>

チケットかながわ TEL.0570-015-415
チケットぴあ <https://t.pla.jp/> (Pコード:149-681) TEL.0570-02-9999
ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード:31723) TEL.0570-000-407
イープラス <https://eplus.jp/>



あなたに届く、あなたの音楽。

3年に一度の音楽の祭典
横浜音祭り2019

<https://yokoato.jp/> 横浜音祭り 音楽

「横浜音祭り 2019」において、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの機運を盛り上げるため、事前キャンプを横浜で開催する英国との連携プログラムとして、2019年10月14日(月・祝)に神奈川県立音楽堂において、「英国女王陛下の近衛軍楽隊コンサート」を行いました。当日は小雨の降る悪天候に関わらず1,000名を超える方々にご来場いただきました。

ミリタリー・バンド（軍楽隊）というと堅苦しい音楽のように思われがちですが、イギリス国民にとってはごく身近で心和ます音楽グループです。来日したグレナディアガーズは、創設以来今年で 334 年間、国王警護の任務を務めてきました。長い歴史と栄光に包まれた軍服を身につけた誇り高き軍楽隊の煌びやかなステージとなりました。



(c)Kota Sugawara

東京 2020 大会の開催を記念した東京オリンピック・ファンファーレとマーチ、ロサンゼルスオリンピック・ファンファーレ、「威風堂々」等の英国やオリンピック・パラリンピックにゆかりのある楽曲の演奏と、また、情緒溢れるスコットランド近衛連隊バグパイプ軍楽隊の共演を楽しんで頂きました。

また、開演前や休憩中には、近衛軍楽隊のメンバーがホワイエでグリーティングを行い、多くのファンと触れ合う光景が見られました。

2019.12.21 イベント | 横浜市

「ホッチポッチミュージックフェスティバル 2019」で英国の伝統音楽を披露！



2019年10月20日（日）に日本大通り、横浜公園周辺において、「ホッチポッチミュージックフェスティバル 2019」が開催されました。

「ホッチポッチ」は英語で「ごちゃまぜ」という意味。2009年からはじまり、今年で11回目を迎えるこのイベントは、国・世代・性別・障がいの有無などに関わらず、誰もが集える「ごちゃまぜ音楽祭」。そして、開港から160年を迎え、さまざまな異文化を受け容れてきた横浜を象徴するメインストリート日本大通りから、多様な文化や個性・価値観を、音楽を通じて発信し、毎年開催されています。

今回のフェスティバルでは、横浜のホストタウン登録国である英国より、バクパイプ演奏家の、ジェラルド・ミューヘッドさんを招聘しました。英国の伝統的なタータンチェックの民族衣装に身を包み、独特の音色のバクパイプを演奏し、訪れた観客を魅了しました。また、フィナーレでは、横浜のアーティストとのセッションを行い、相互の文化交流を深めました。



2020.01.08 イベント | 横浜市

オリンピック・パラリンピック等を契機としたスコットランドとの連携 及び現地向けプロモーションを行いました



横浜市とスコットランド自治政府は、19世紀半ばから始まった双方の交流のつながりに基づき、とりわけ2019年～2020年を中心に、①文化や観光分野での交流協力、②海洋産業関連企業・機関同士のネットワーク促進、③ラグビーワールドカップ2019™および東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした市民交流、④学生・学術交流を含む大学間連携の促進などにおいて、相互に協力しています。

2019年10月には、ラグビーワールドカップ2019™で来浜したスコットランド自治政府のフィオナ・ヒスロップ文化・観光・対外関係大臣と林文子横浜市長が面会し、オリンピック・パラリンピックに向けても両者の連携を深めていくことを再確認しました。

スコットランドとの関係を更に深め、よりよいパートナーとなるため、また、オリンピック開催に向けてスコットランドの皆さんに横浜を知っていただくために、現地に向けたプロモーションを推進しています。

2018年は、スコットランドの雑誌やオンラインメディアを通じて、横浜の観光情報を発信しましたが、2019年は引き続き2つの事業を実施しました。1つ目は、スコットランド出身のカップルで活動し大きな影響力があるワールドトラベルブロッガー「Two Scots Abroad」に横浜を取材してもらい、実際に観光して感じた横浜の魅力をブログで発信してもらいました。2つ目は、横浜のスタートアップ支援をはじめとするビジネス環境の魅力を、スコットランドのオンラインマガジンやビジネスメディア等を通じて現地に向けて発信しました。

Two Scots Abroad What to do in Yokohama: Food, Nightlife + Culture (2019年9月)

<https://www.twoscotsabroad.com/what-to-do-in-yokohama/> (英語サイト)

The Scots Magazine Scottish Startups Should Consider Yokohama (2019年12月 ※その他メディア7媒体で実施)

<https://www.scotsmagazine.com/articles/scottish-startups-yokohama-sponsored/> (英語サイト)

2020.01.24 ニュース | イベント | 横浜市

英国コヴェントリー市の子どもたちが東京2020大会競技開催都市・横浜を訪問！



2019年11月19日(火)、英国コヴェントリー市から、オリンピックスタディツアーで来日中の子どもボランティア10名が、横浜市の児童・生徒の皆さんとさまざまな交流イベントを行いました。

まず、コヴェントリーの皆さんが向かった先は、東京 2020 オリンピックで野球・ソフトボールの試合会場となる横浜市中区にある横浜スタジアム。この日、ソフトボール女子日本代表チームと横浜市立立野小学校 6 年生児童の皆さんとのふれあいフェスティバルが開催されており、一緒に参加しました。

当日、ソフトボール交流会では、横浜市立横浜商業高等学校の国際学科やスポーツマネジメント学科など 10 名の生徒の皆さんが、コヴェントリーの子どもたちとペアになり、語学サポートのボランティアを務めてくれました。



高校生ボランティアと立野小学校の皆さんが入口でお出迎え



まずはペア同士で、自己紹介

この日、朝早くに東京のホテルからの移動で少々疲れ気味だった子どもたちも、その歓迎ぶりに思わず笑みがこぼれました。

早速、フィールドに入り、ペアを組む高校生ボランティアたちとも打ち解けてきたところで、ソフトボール女子日本代表チームの皆さんの登場です。



まず初めは、選手の皆さんによるデモンストレーション。その後、児童たちの中から数人が、実際にバッターボックスに立ち、選手たちの剛速球を体感。あまりの球の速さに思わず固まってしまう子もいました。



代表選手による迫力あるピッチング！



コヴェントリーの皆さんもバッターボックスに立ちました！

その後、選手と子どもたちは4チームに分かれて、日本の運動会の定番である玉入れに挑戦しました。



コヴェントリーの子どもたちも頑張りました！

最後は、代表選手の皆さんに質問した後、記念撮影。コヴェントリーの皆さんにとっても思い出に残るイベントとなりました。



コヴェントリーを代表して選手に質問！



代表チームの皆さんと記念撮影

ふれあいフェスティバル終了後、コヴェントリーの皆さんは、特別に横浜スタジアムの施設見学をさせていただきました。



横浜を一望できる横浜スタジアムの屋上



横浜スタジアムを本拠地とするベイスターズカーに、ニッコリ

玉入れで身体を動かし、すっかりお腹も空いた子どもたち。昼食をとるため、新横浜のラーメン博物館へと移動です。ここでは、横浜市立篠原中学校生徒 6 名と大綱中学校生徒 3 名の皆さんが、コヴェントリーの皆さんとペアになり、昼食および博物館の見学をサポートしてくれました。



お店選びに夢中です



いただきます！



語学サポートの中学生の皆さんと

お腹を満たした子どもたち。この日最後のプログラムとなる、横浜国際総合競技場の施設ツアーへ、いざ出発です。横浜国際総合競技場は、東京 2020 大会で、サッカーの舞台となります。また、2019 年のラグビーワールドカップでイングランド代表チームが戦った決勝の地としても有名です。コヴェントリーの皆さんも、ラグビー決勝戦をテレビで観戦していたらしく、選手と同じフィールドに立ち、みんな大興奮でした。

普段入ることの出来ない施設の裏側で、熱心に写真を撮る児童の姿も。また、ラグビーワールドカップ開催中にも TV でしばしば映っていた選手たちの控室にも潜入です。



しっかり撮れたかな？



選手たちの控室 座り心地もいいようです

フィールドでは、引率の先生たちと競走してみたり、VIP 席にも座らせていただき、各自思い思いに、競技場の壮大なスケールを満喫していました。



コヴェントリーの皆さんも英国代表チームを応援します！



最後はフィールドで記念撮影

朝から忙しい一日となりましたが、ソフトボール女子日本代表チームや横浜市の子どもたちとの交流の機会もあり、またオリンピックの舞台となる会場のツアーも体験でき、コヴェントリーから来日した 10 名の子どもたちと 7 名の先生方は、大変満足して帰途につかれました。

～語学ボランティアを務めてくれた生徒の皆さんの感想～

今回のイベントに参加するまでは、自分の英語が英国の小学生に上手に通じるか、とても不安な気持ちが強かったけれど、実際は小学生の皆がとても協力的で積極的に話しかけてくれて嬉しかったです。最後は、とても仲良くなれて参加して良かったと強く思いました。

(横浜商業高校)

英国の小学生の通訳をしたり、日本のことや観光地について話したりできて、普段できないことに挑戦してみて良かったと思う。

言葉の壁があったとしても、スポーツを通してコミュニケーションをとることができるかと再確認できた。オリンピックは来年でもう時間は少なくなっているが、東京オリンピックをきっかけとして英語を使う機会が増えたらいいと思う。

(横浜商業高校)

今回の交流で他の文化を知りコミュニケーションをとることの楽しさや大切さを知ることができたので、これからの英語授業でもたくさんコミュニケーションをとっていきたいと思います。

(横浜商業高校)

私は今回の参加で英語で話すことの楽しさを知りました。だから来年の東京オリンピックで困っている人がいたら、ボランティアとして声かけをして、道案内をしてみたいと思いました。

(篠原中学校)

普段、外国人と交流することはまったくないので、今回のイベントはとてもいい経験となった。

(篠原中学校)

最初はガチガチで緊張していたけど、最初に、ペアの子が積極的に話しかけてくれたので仲が深まりました。またこういう機会があったら誘ってください。

(篠原中学校)

コヴェントリー市の文化など、日本との色々な違いも知ることができました。自分もペアの子に日本について色々な事を伝えることができたと思います。

(大綱中学校)

2020.01.24 ニュース | 横浜市

【募集終了しました】英国事前キャンプ横浜市ボランティア「横浜ホストタウンサポーター」



英国事前キャンプ横浜市ボランティア「横浜ホストタウンサポーター」の募集は終了しました！

たくさんのご応募ありがとうございました。

横浜市は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおける英国代表チーム事前キャンプを円滑に実施するため、英国事前キャンプ横浜市ボランティア「横浜ホストタウンサポーター」を募集しました。

令和元年 12 月 20 日から令和 2 年 1 月 21 日の応募期間に、募集人数の 100 人程度を大きく上回る **1,431**人の皆様にご応募いただきました。英国代表チームにとってベストな準備環境を作るよう、またサポーターの方々がいきいきと活躍いただけるよう、引き続き準備を進めていきます。

【今後のスケジュール（予定）】

令和 2 年

- 1 月末** 応募者へ抽選結果を通知、個別オリエンテーション（説明会・面談等）案内通知
- 2 月下旬** 個別オリエンテーション実施
- 3 月上旬** 「横浜ホストタウンサポーター」決定通知
- 3 月下旬** 英国代表チームによる全体オリエンテーション実施
- 5～6 月頃** 役割別研修・リーダーシップ研修、ユニフォーム等受取
- 7 月初旬** 英国代表チームによる全体研修
- 7 月** 活動実施

◆横浜ホストタウンサポーター 募集概要

1. 活動期間

英国事前キャンプ中の主要期間を中心とした、2020年6月下旬から9月上旬
<主要期間：英国オリンピック代表チームキャンプ期間（7/5～8/5）の32日間>

2. 活動日数・活動時間

上記、**主要期間**のうち最低5日以上、休憩時間を含み1日あたり8時間程度
※ 事前キャンプの時間帯・役割によっては、活動が早朝・夜間となる場合もあります。

3. 活動場所

横浜市内ホテル、横浜国際プール（都筑区）、移動のシャトルバス内、その他市内施設や空港など

4. 活動内容

ホテル等での受付・総合案内、横浜国際プールでの設営・運営、誘導、通訳 など

5. 募集人数

100人程度

6. 応募期間

2019年12月20日（金）～2020年1月21日（火）

7. 応募方法

「横浜市スポーツボランティアセンター」WEBサイト内の応募用ページ（12月20日開設予定）にアクセスし、応募いただきます。応募にあたっては、事前に「横浜市スポーツボランティアセンター」への会員登録が必要です。

会員登録はこちらから↓

<https://sports.yokohama-volunteer.jp/spo-v/>

<「横浜市スポーツボランティアセンター」とは>

横浜市スポーツボランティアセンターは、スポーツボランティアの募集・登録をはじめ、横浜市内で開催されるスポーツイベントのボランティア情報、スキルアップにつながる研修会の開催情報の提供などを行っています。

8. 応募可能な方

次の7つすべてにあてはまる方が応募可能です。

- (1) 2002年4月1日以前に生まれた方
- (2) 日本国籍を有する方または日本に居住する資格を有する方
- (3) 日本語によるコミュニケーションができる方
- (4) 以下のような英語での日常会話が可能な方
 - ・ 英国代表チームによる英語での研修や活動内容の説明を通訳なしで理解できる。
 - ・ 英国代表チームによる英語での活動指示が理解でき、内容を第3者へ伝達できる。
 - ・ 英国代表チームの選手から質問を受けた際、すぐに理解でき、応答できる。(目安としてTOEIC700点以上程度を想定しています。スコアの有無は問いません。)
- (5) 電子メール、携帯電話での情報伝達が可能な方
- (6) 「横浜市スポーツボランティアセンター」にご登録いただける方
- (7) 上記**主要期間(7/5~8/5)**のうち5日以上活動可能な方、かつ下記にすべて出席できる方
 - ・ 個別オリエンテーション(2月下旬)
 - ・ 全体オリエンテーション(3月下旬)
 - ・ 英国代表チームによる研修(2020年7月を予定)

※フランス語の日常会話ができる方は応募の際にお知らせください。

(英国以外のホストタウン登録国のサポートを行っていただく可能性があります。)

<募集要項>

詳細は、募集要項をご覧ください。

募集要項 (こちらをクリック)

https://gogb2020.jp/wp-content/uploads/2019/12/yokohama_hosttown_supporter.pdf

<お問合せ先>

英国事前キャンプ横浜市ボランティア「横浜ホストタウンサポーター」運営事務局
TEL 045-661-1558 (受付時間：平日 10:00~18:00)



2020.03.31 イベント | 横浜市

中図書館で GO GB に関するパネル展示と「英国のおはなし会」を開催しました



中区本牧原の横浜市中図書館では、2020年1月17日（金）から2月16日（日）まで、オリパラ関連のパネル展示「英国事前キャンプが横浜にやってくる！」を行いました。



英国オリンピック代表チームや、英国と横浜のつながりをパネルで紹介し、あわせて、英国に関連する本を集めて展示、貸出を行いました。大人向けの一般書のほか児童書も展示し、多くの来館者が手に取っていました。

また、絵本の読み聞かせや、昔話を語る「英国のおはなし会」を開催しました。

2020年1月18日（土）には「ことりの会のおはなし・おはなし～英国のおはなし会～」を行いました。こちらは、語り手が昔話や物語を語る「ストーリーテリング」のおはなし会です。子どもから大人までお話を耳を傾け、英国の昔話や物語の世界を楽しみました。



2020年2月1日（土）には「めぐみ座のおはなし会～英国のおはなし会～」を行いました。

おなじみの『クマのプーさん』や『ピーターラビットのおはなし』をはじめ、英国をテーマに絵本の読み聞かせや本の紹介を行いました。英国の物語の世界をたっぷり楽しんでもらえました。



2020.03.31 イベント | 横浜市

1月20日（月）フォーラム「創造性の広がりがもたらす都市へのインパクト〜クリエイティブ・ダンディーを迎えて」を横浜で開催しました！



横浜市では、東京2020大会に向け英国代表チームを迎え入れる機運を醸成していくため、様々な分野において英国事前キャンプ・ホストタウンに関連した取組を進めています。

今回、スコットランドの創造産業のキープレイヤーとして活動する「クリエイティブ・ダンディー（Creative Dundee）」から、ディレクターのロリ・アンダーソン氏をお迎えし、また横浜市内外で活躍するクリエイター、オーガナイザーや編集者等のゲストとともに「創造性の広がりをもたらす都市へのインパクト」をテーマにフォーラムを開催しました。

はじめに、ロリ氏からクリエイティブ・ダンディーの取組について紹介していただきました。例えば、市民が選んだ観光スポットを掲載するシティガイドブックの発行やコンペティション形式でプレゼンテーションを行い交流するネットワーキングイベントの開催など、とても興味深い取組が披露されました。また、「創造性はポジティブな触媒になれる」という考えから、特に情報発信、人々をつなぐネットワーキング、他分野との連携（コラボレーション）を柱として事業を実施しているとお話しされました。



続く前半のライトニングトークでは、横浜・日本で行われている類似の創造的活動についてプレゼンテーションが行われました。社会課題を多くの人に身近に感じてもらえるよう、例えば温室効果ガスの削減イメージを表すグラフをアーティストがイラスト等の作品に代えてシェアするプロジェクトや建築家が主導するひとり親家庭に対する居住支援サイトなど、創造性が様々な分野に活かされている取組が紹介されました。



後半は会場から寄せられた質問を基にトークが行われました。ロリ氏は、横浜のポテンシャルや都市ビジョンについて、「横浜は人々が創造性について理解し、関与を示していて、ネットワークも構築されている」と評価するとともに、「都市政策のビジョンを定めるには、都市のニーズは何かを見つけ、そのためにどうするべきかを考えなければならない」とお話しいただきました。

■実施レポートはこちら（外部サイト：アートWEBマガジン「創造都市横浜」）

*Click here to read more (external website, Japanese language only)

<http://yokohama-sozokaiwai.jp/special/20247.html>

■登壇者プロフィールはこちら（外部サイト：横浜市芸術文化振興財団）

*Click here for more information about the guest speakers (external website, Japanese language only)

<https://acy.yafjp.org/news/2019/15575.html>